

DPP-4 阻害薬登場に伴う 2 型糖尿病患者における初診時の薬物選択に関する探索的研究

診療記録を利用した後ろ向き観察研究への協力をお願い

【研究機関名および研究責任者氏名】

[研究機関] 朝日生命成人病研究所附属医院 糖尿病代謝科 [研究責任者] 菊池貴子

【共同研究機関】 明治薬科大学 榎山暁史 赤沢学 田中佑欣 田中佑奈 藤坂紗彩 大塚美空 山之内美環
高橋雅弘

【研究期間】 承認後~2024 年 3 月 31 日

【研究の背景・目的】

2009 年 12 月に低血糖が少なく使用しやすい新たな種類の血糖を下げる薬が発売されました。それまでは、低血糖のリスクが高い薬が糖尿病治療の主流であったため、2010 年以降大きく糖尿病治療薬の選択が大きく変化したと考えられます。そこで、糖尿病治療薬選択の移り変わりや、どのような患者にどの糖尿病治療薬が使われているのかを研究することとしました。

【研究方法】

この研究は、朝日生命成人病研究所の倫理委員会の承認を受けて実施するものです。

[対象者]2005 年~2021 年 12 月 31 日の間に朝日生命成人病研究所を受診した 2 型糖尿病患者

[研究項目]カルテにある以下の様々な情報を取得します。

病歴情報	診察券番号、生年月日、性別、カルテ内に記された病名とその日付、糖尿病発症年齢、初診時家族歴、初診時生活歴、初診時体重歴、初診時使用薬剤、糖尿病型、病名、
診察所見	以下の所見の取得日時と値：身長、体重
検体検査	それぞれの検査実施日時および以下の項目の値： 血清クレアチニン、eGFR、血糖、HbA1c
処方	処方日、処方内容（薬剤名、用法、用量、投与日数）

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集されるデータなどは外部漏洩がないように慎重に取り扱います。診察券番号、氏名、住所、生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたにも分からないようにした上で、個人情報管理担当者にもみ使用できるパスワードロックをかけた別媒体で厳重に保管します。ただし、必要な場合には当研究室に置いてこの符号を元の氏名などに戻す操作を行うことはできます。この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は下記の研究事務局までご連絡ください。研究結果は、個人が特定出来ない形式により学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理の元、研究終了後 5 年間保存されます。

【問い合わせ先】

[研究責任者]朝日生命成人病研究所附属医院 菊池貴子 [連絡担当者] 菊池貴子

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6 [TEL:03-3639-5501](tel:03-3639-5501)、[Fax : 03-3639-5520](tel:03-3639-5520)